

# こども発達支援センターのぞみ園 サービス自己評価・点検結果

2018/3/1

	チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	取り組み状況
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。		✓		法令を遵守したスペースを確保しています。利用者様が多く狭く感じられる日もありますが、グループ分けや活動内容等を工夫し、安全かつ快適に過ごしていただけるように努めます。
	2 職員の配置数は適切であるか。	✓			法令で必要とされる配置数に加え、指導員又は保育士を1名以上配置しています。
	3 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	✓			施設は基本的にバリアフリー化されています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	✓			毎日施設内の清掃を行っています。また、週1回、玩具・教材等の消毒を行っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	✓			業務改善等のための話し合いや取り組みは全職員参加で実施しています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	✓			年2回アンケートを実施しているほか、個別面談等でもご意見をお聞きし、業務改善につなげるよう努めています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	✓			今回はじめて国のガイドラインにもとづいたサービス評価を実施いたしました。結果は施設内に掲示してお知らせしています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか。			✓	現在のところ第三者による外部評価は実施しておりません。
	9 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	✓			外部研修および内部研修を計画的に実施し、職員の資質向上を図っています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	✓			発達検査・知能検査等のアセスメントツールも適宜活用しながらお子さんのニーズ把握を行い、支援計画を作成しています。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	✓			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			✓	国のガイドラインが示されたことを受け、次年度（平成30年度）から個別支援計画の様式を改訂し、より広い視点から支援計画を作成していきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	✓			個別支援計画を全職員で検討・共有し、支援にあたっています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	✓			職員間で話し合いながら、日々のプログラムや年間の活動を計画し、支援の充実を図っています。お子さんの状況に応じて、小集団指導・個別指導を組み合わせ、双方の連携を図りながら実施しています。
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	✓				

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	✓			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	✓		毎日の小集団指導の前後で必ず職員ミーティングを実施し、支援方法の確認や振り返りを行っています。また、個別指導、訪問支援、相談支援の担当職員とも情報共有を図るため、申送りの時間を毎日設けています。指導・支援の記録も全体で共有し、日々のミーティング等で見返すなど支援に活用しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	✓			
	19	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	✓			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	✓			半年に1回程度、モニタリングを実施しています。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	✓			行政機関や幼稚園・保育園・学校等との連携を常に図りながら、事業運営や利用者様の支援を行っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	✓			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	✓		医療的ケアや重症心身障害のお子さんについては特に、保健センターをはじめ、関係機関との連携に努めています。医療機関とは保護者様を通じたやりとりとなっていることが多いので、今後必要に応じて、医療機関と直接的な連携も図っていきます。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。		✓		
関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	✓		必要に応じて保育所・幼稚園等への訪問などを行い、連絡連携、情報共有を図っています。また、就学に際しては、就学先へ文書にて情報提供を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	✓			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	✓		県内の障害児通所支援事業所の連絡協議会に参加し、交流や研修を図ったり、必要に応じて専門機関や近隣の事業所と連携を図っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	✓		毎月1回、同法人の運営する保育園での交流企画を実施しています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	✓		行政からの要請に応じて、保健福祉、教育関係の会議等に職員が参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	✓		親子通園の事業なので、日々の小集団指導や個別指導の中で共通理解に努めています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	✓		外部講師等による保護者勉強会を定期的開催しています。	

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	✓		利用手続きの際に、重要事項説明書により利用方法等について説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。		✓	個別支援計画の説明を行い、同意の上、署名捺印をいただいています。次年度はガイドラインの項目等を踏まえて支援計画の様式を改訂し、ガイドラインに則った形で支援計画の作成と説明を行います。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	✓		通常の指導時間の他、保護者様からのご希望に応じ、個別相談の時間を設けて対応しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		✓	おしゃべり会や季節の行事など、保護者同士の交流や情報交換の機会を提供しています。保護者様からのご要望もあるので、回数を増やすなど充実を図っていきたいと思います。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に、迅速かつ適切に対応しているか。		✓	苦情受付体制を整備しているほか、保護者様からご意見やご要望があった際には、迅速な対応に努めています。苦情受付体制については、十分に周知されていないため、一層の周知を図ります。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	✓		指導予定表や行事案内等を毎月配布しています。	
	38	個人情報の取り扱いに十分に注意しているか。	✓		当法人の個人情報保護規程に則って、適切に管理しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		✓	外国人の利用者様等への情報保障が不十分であるため、対応を検討してまいります。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。		✓	季節の行事等の際に、地域の主任児童委員さんやボランティアさんのご協力をいただいています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		✓	各種マニュアルを策定し、避難訓練や対応方法の研修を実施していますが、保護者様への周知が不十分なため、周知に努めます。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行っているか。	✓		対応マニュアルを策定し、年2回利用者様を交えた避難訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	✓		利用契約時に、児童票の中に服薬等の状況をご記入いただき、確認しています。	
	44	食物アレルギーの子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			✓	親子通園であるため、保護者様の申し出にもとづき、保護者様に確認を取りながら対応していますが、今後文書での確認も検討します。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。		✓	ヒヤリハット報告を職員間で共有するよう努めていますが、今後、事例集を作成し、職員研修等でも活用していきます。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	✓		年1回、虐待防止に関する職員研修を実施しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか。	✓		身体拘束の必要な場合は、職員間で十分な検討を行い、保護者様の了解を得た上で行います。	

